

### 8-4-3 維持管理対策WG

#### 1. 主な活動の記録

社会資本の本格的な維持管理・更新時代を迎え、持続可能なインフラの実現に向けた戦略的かつ計画的な事業推進が求められる中、維持管理対策WGは、社会資本の維持管理・更新を効率的に推進するため、平成25年6月に設置された協会内の推進組織である。新たな技術や全体システム等を提案・発信する役割を担っており、WG長を筆頭に8つの専門分野の委員で構成されている。

##### (1) 維持管理対策WGの活動内容

- a) 「道路橋メンテナンス技術講習」の持続・継続実施と課題解決に向けた取り組み：令和7年4月～令和8年2月
- b) 維持管理・更新業務に関する課題整理：令和7年4月～令和7年5月

##### (2) 「道路橋メンテナンス技術講習」の実施

平成27年度に初めて開催された「道路橋メンテナンス技術講習」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により2年連続で休止した後、令和4年度から再開した。再開後は、専門講義の全カリキュラムにリモート方式を採用し、関東支部および近畿支部の支援・協力のもと、東京と大阪の2地区において開催しており、今年度も同様の運営とした。

- ・開催日：令和7年11月10日～11月14日
  - － 1～3日目：専門講義（座学）
  - － 4日目：現地実習
  - － 5日目：達成度確認試験等
- ・受講者：計56名（東京30名、大阪26名）
- ・合格者：計32名（東京19名、大阪13名）

点検技術者の質を確保するための点検資格等の取得義務化が進められる中で、本講習における達成度確認試験の合格者は、令和5年度から直轄管理橋梁の点検・診断業務の配置担当技術者に保有が求められる技術者資格等の一つとして認められている。さらに、合格者には、一般財団法人橋梁調査会が認定・登録を所管してい

る「道路橋点検士補」の受験資格（学科試験のみ）が付与される。

アンケート調査の結果によれば、9割を超える受講者が「満足」と回答しており、専門講義（内容・説明・時間）に関する評価は概して良好であった。一方、現地実習に関する評価は、4割弱の受講者が「説明が分かりにくい」「時間が短い」と回答した。本技術講習の継続実施については、大多数の受講者から肯定的な回答が得られた。

令和8年度の開催にあたっては、国土交通省等の関係機関と調整・連携し、円滑かつ効率的な運営を図ることが重要である。今年度の運営実績や受講者意見も踏まえ、内容・運営の改善を継続する必要がある。

##### (3) 維持管理・更新業務に関する課題整理

前年度に実施した、各技術分野における維持管理・更新業務の実態に関するアンケート調査の結果をもとに、契約面および技術面の共通課題や重要課題を整理した。また、各技術分野の基準・要領を整理した資料を作成した。これらの資料は、各技術分野の専門委員会へフィードバックした。

#### 2. 次年度の活動方針

##### (1) 道路橋メンテナンス技術講習の実施

- a) 過年度の活動を継続し、東京と大阪の2地区において道路橋メンテナンス技術講習を実施する。
- b) 道路橋メンテナンス技術講習の持続的・継続的な運営を目指し、国土交通省等の関係機関と調整・連携して具体的な対応策を取りまとめ、必要に応じて提案する。

##### (2) 維持管理・更新業務に関する課題への対応

- a) 新たな課題が生じた場合は、その内容を整理し、適正な業務システム等を提案する。

（維持管理対策WG WG長 石垣 直光）